

発行所 京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
京都地方労働組合総評議会（京都総評）
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター
電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第 250 号

主な日程

1月6日(水) 21春闘スタート宣伝
8:00 四条烏丸
1月31日(日) 第90回臨時大会
13:30 ラポールホール

新型コロナウイルスを克服しいのちと暮らしが大切にされる社会へ

21京都国民春闘討論集会

新型コロナウイルス感染が急拡大する状況の中、従来は1泊2日で行っていましたが、今回は、感染防止対策を取りながら、時間を短縮して21京都国民春闘討論集会を行いました。
21京都国民春闘方針案の提案と経済提案についての特別報告を行い、全体討論では17人が発言しました。1月31日の臨時大会に向けて、各組織で春闘方針案の積極的な討議を呼びかけます。

重大な岐路のもとで たたかう21春闘

21春闘は、新型コロナウイルス感染拡大をおさえながら、暮らしと経済を維持し持続可能な循環型にするのか、命も暮らしも維持できない社会に突き進むのかが問われる重大な岐路にたつた、せめぎ合いとなります。

新型コロナ感染者数が急拡大していますが、政府は、「感染対策より経済」とGOTOトラベルなどに固執しており、国民の不満と怒りが渦巻いています。

春闘方針案では、21春闘をたたかうポイントを加えてたたかうこと、職場の身近な要求の実現をめざします。「一組合員一行動」で、参加した組合員が一体感をもてる取り組みをすすめます。また、要求を勝ち獲った喜びを全組合員で共有し、確信を深め、組織の強化と拡大をすすめます。

5つのたたかひのポイント

第一に、「全組合員参加でたたかうこと」です。職場の身近な要求の実現をめざします。「一組合員一行動」で、参加した組合員が一体感をもてる取り組みをすすめます。また、要求を勝ち獲った喜びを全組合員で共有し、確信を深め、組織の強化と拡大をすすめます。

コロナ禍だからこそ、しっかり要求をかけたたたかう

秋季年末闘争では、公 月削減され、民間の年末勤務員の一時金が0・05ヶ 一時金も厳しいたたかい



ストライキでたたかうJMITUの仲間

で高いと思うのか」と経営者に迫っています。コロナ禍が続くもとの21春闘は、一人ひとりの切実な要求を出し合い、生活実態調査(最低生計費資産調査)結果も

活用して、「暮らしを金で獲得」「大幅賃上げと賃金底上げ」を求めていくことが大事です。「コロナ禍だからこそ、しっかり要求をかけたたたかひをすすめます」。

単産・地域・職場で、切実な要求を語り合い、21春闘方針案の討議と学習をすすめる、来る臨時大会(1月31日)で21春闘方針を確立しましょう。

府市民総行動・京都府要請

労働組合や民主団体などをつくる「府市民総行動実行委員会」では、11月20日に京都府、11月30日に京都市に対して、「20秋の府市民総行動」を行い、街頭宣伝や集会などで職員・市民にアピールし、参加団体の代表による要請行動を行いました。

府市民総行動で 京都府・京都市へ要請



要請では、新型コロナウイルス対策として、「コロナ禍で営業危機にあるすべての中小企業に対する直接支援策の拡充・延長を国に求めるとともに、自治体独自の施策を継続・拡充・新設すること」「国

TUBUYAKI

コロナ禍で生活スタイルも一変し、巣ごもり生活もすっかり定着。自宅にいる時間が長くなり、ストレスも溜まる一方で、旅行にでも思っても、GOTOトラベルは第3波の影響で、出掛けるのははばかれる▼またもや自粛生活かと思いきや、自然の中で過ごすキャンプが大ブームになっています。屋外だと距離も取れるので、密にもならないし、なにより日常から抜け出して緑の木々がたくさんの野外で過ごすことは心にも体にも良いです。▼一昔前はキャンプと言えば大きなテントを設営してみんなでワイワイ楽しむことを思い浮かべますが、寝る時は各々小形のテントで、中には食事も個々で楽しむといったスタイルが主流になり、一人でキャンプをするソロキャンパーも増えていきます▼キャンプのもう一つの楽しみといえば食事で、おしゃべりながら豪華なご飯や燻製にチャレンジする人もいて、「キャンプ飯専用のレシピ本も出ています▼コロナ禍のもとキャンプのスタイルも、今までは違っていた楽しみ方になっていきます。冬こそキャンプのベストシーズン！気分転換はどうですか。(KI)



春闘方針案を提案する柳生事務局長



▲21春闘勝利へ、団結ガンバろう

第二に、「労働実態の見える化」「要求と運動の見える化・見せる化」にこだわることです。労働組合の見える化にこだわり、地域に打って出る取り組みを追求します。第三に、春闘共闘や産別統一闘争に結集したたたかひを展開することです。社会的世論に訴え、

地域経済の好循環を生み出すために

「コロナ禍のもとで、働く者の暮らしも、中小企業と地域経済も守るための提案」を発表

コロナ禍のもと、暮らせる賃金と雇用の確保、それを保障できる経営支援が緊急課題です。また、経済を再生させていくため、本格的な経済対策が求められることから、経済提案を策定し、12月8日に記者会見を行って発表しました。

府内の経済団体と懇談し、経済提案をつくる

コロナ禍のもと、休業手当では暮らせない労働実態とあわせ、生業の維持が厳しく、事業の継続そのものが困難となる地域の中小、小規模事業者の悲鳴が上がりました。労働者の経済的危機が、そのまま消費活動の悪化、地域の経済を直撃するという悪循環に陥り、

本格的な、中小企業とそこに働く労働者に対する直接的支援がなければ、京都がつぶれる危機感から、「コロナ禍のもとで、働く者の暮らしも、中小企業と地域経済も守るための提案」をつくりました。

2本立ての経済対策が必要

提案では、①当面の生業の維持を緊急に行うこと、②新型コロナウイルスと向き合いながら経済・社会生活を行っていく中、消費を基礎とする実体的な循環を立て直す継続的な支援、という2本立ての経済対策を求め

要「賃金を上げて需要を喚起することは重要」社会保険料の負担軽減や消費税減税はそのとおりだ」とコンセンサスを広げることができました。経済団体との懇談を踏まえて提案を取りまとめ、発表したものです。

緊急対策の拡充では、国に対して、緊急融資の拡充、持続化給付金の再支給と要件緩和、固定費（家賃、光熱水費、人件費など）への支援などを求めています。自治体に対しては、固定費への補助や雇用が維持できる事業支援など直接的支援などを求めています。

本格的な経済対策（継続的な支援）の大きな柱として、社会保険料の事業主負担の軽減と消費税の減税を求めています。地方自治体の果たす役割については、①公的な



「引き上げの好循環」をつくり、引き上がった賃金が消費に回り、経済が活性化していくこと。消費

こと、③京都府が広域自治体としての役割を發揮すること、を求めています。

地域循環型経済への展望

地域循環型経済の核心は、「暮らせる賃金の保障と安定した雇用」です。中小企業への支援を現在の制度と予算規模から抜本的に転換・拡充すること、最低賃金の引き上げと賃金改善を安定的に進める、

仲間と出会い、学び交流して人生を豊かに

西・右京ユニオンひまわり



毎年、メンバーの後に交流会をしています

出会い、一緒に学び交流するなかで人生を豊かなものにしていくことができる場所です。花見、ビアパーティーなど、仲間つくりと交流を大切にしています。いろんな世代、いろんな職業、いろんな考えを持つ人たちが集まっているのも地域ユニオンの特徴です。

西・右京ユニオンひまわりは、西京区・右京区に住む人、働く人などが集まって結成した一人でも入れる地域の労働組合です。パート・アルバイト・派遣・請負・正社員…どんな働き方でもOKです。仕事をめぐる悩みやトクを受けたいです。ユニオンひまわりは、仲間とラフルは、一人で解決するのは難しい。そうした問題を個人任せにしないで、みんなで力を合わせて問題を解決していく組織です。顧問弁護士に相談することもでき、さらに他団体とのネットワークもあり、強力なサポートを受けています。ユニオンひまわりは、仲間と

地域ユニオンの活動 労働組合の姿を地域に

- ・BBQ、ハイキング、映画会、お花見
- ・労働相談（随時受付）
- ・ニュースの定期発行と月1回の世話人会

私が単組青年部に入った7年前、総評青年部はクリスマスパーティーを開催し、数多くの単組から青年が参加して、楽しみながら交流している様子が印象的でした。

今、総評青年部は役員が減り、企画の開催すら危うい状況に陥っています。コロナで「交流、が厳しくなっていますが、青年が孤立せず、総評青年部に集うことで仲間と繋がれるように他の役員の方々と力を合わせて頑張りたいと思います。

新・青年部部长 大下真一（京都自治労連）



11/14 青年部 コロナ禍でも元気に！ 定期大会 開催



私たちが働く女性がこの京都を支えていること、私たちの働きなしにこの京都の未来は語れないことが、定期大会での発言からより鮮明になりました。

コロナ禍は、集まることを困難にしました。「集まれば元気、語り合えば勇気」を合言葉に運動をすすめてきた女性部にとって苦渋の1年となっています。しかし、声を上げなければ変わりません。声をかけ、対話を広げ、思いをつなげる取り組みを進めることが今こそ大事になっています。組合こそが、私たちにとって最も強い防護具なのだということを知らせ、誰一人取り残さない運動を進めたいと思います。

新・女性部部长 堀照美（京教組）

『転がる香港に昔は生えない』

伏見地区労 事務局長 香川 裕一

国内、国外を問わず旅行が好きで香港には毎年出かけていました。残念ながらコロナ禍で今ほどにも行くことができませんが、香港はお気に入りの場所なので状況が落ち着いたら真っ先にいきたい場所です。この本も香港に関する本ですが1996年から19

97年の香港返還の時の激動の時代を描いたノンフィクションです。返還直前に香港に

滞在した著者が、変わりゆく香港の様子を現地の人との交流から体験したことが綴られており、特に今はなき香港の「九龍城砦」で働く中国人たちとの交流を描いたところでは「生きている」と云うことを改めて考えさせられました。いま中国政府は香港の民主化をはぎ取ろうとしています。これに対抗する香港市民のパワーはどこから来ているのか。この本を読んで昔の香港の暮らしを見てみると少しわかったような気がします。



書名：転がる香港に昔は生えない
出版社：文春文庫
著者名：星野博美
定価：990円＋税